

パッケージエアコン

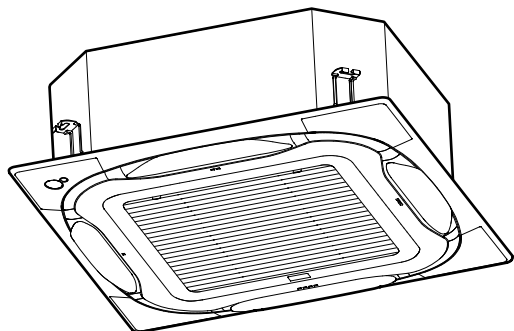
スカイエア

《セパレート形》

天井埋込カセット形
S-ラウンドフロータイプ



二次元バーコードは
製造用コードです。
お客様用のバーコード
ではありません。



室内ユニット

新冷媒R32/R410A対応シリーズ

FHCP40EM	FHCP80EM
FHCP45EM	FHCP112EM
FHCP50EM	FHCP140EM
FHCP56EM	FHCP160EM
FHCP63EM	FHCP63EN
FHCP71EM	FHCP80EN
FHCP40FA	FHCP80FA
FHCP45FA	FHCP112FA
FHCP50FA	FHCP140FA
FHCP56FA	FHCP160FA
FHCP63FA	FHCP63FB
FHCP71FA	FHCP80FB
FHCP40FC	FHCP80FC
FHCP45FC	FHCP112FC
FHCP50FC	FHCP140FC
FHCP56FC	FHCP160FC
FHCP63FC	FHCP63FD
FHCP71FC	FHCP80FD

- このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
お読みになったあと、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- この取扱説明書は室内ユニット専用ですので、室外ユニットおよびリモコンの取扱説明書をあわせてご覧ください。
保証書はお買い上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

ご使用前に 安全について

必ず守ってください	1
ご使用前に必ずお読みください	2
各部の名前と働き	2

運転について

運転の特性	3
複数台同時運転の場合	6
上手な使いかた	6

お手入れについて お手入れのしかた

日常のお手入れ	7
シーズン初め・終わりのお手入れ	10

知っておいてください

調子がおかしいときは	11
別売品について	15
製品の種類と運転音	15
安全にお使いいただくために	16
アフターサービスと保証について	17
「ご購入製品の登録」のご案内	18
お客様ご相談窓口	裏表紙

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果につながる可能性が大きいもの。	注意	誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果につながる可能性もあります。
-----------	--	-----------	---

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		絶対にぬれた手で触れないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		必ず指示どおりに行ってください。
---	--------------	---	--------------------	---	------------------	---	------------------

警告 使用上の注意事項

●冷媒が漏れたら火気厳禁

室内ユニットに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。



禁止

●吸込口・吹出口や風向羽根のすきまに指や棒などを入れない

ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。



禁止

●分解や改造・修理をしない

故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●可燃性スプレー(ヘアスプレー・殺虫剤・除菌剤・エアダスターなど)や消臭剤などを本体の近くで使用したり、直接吹きかけない

ベンジン・シンナーで本体をふかない
火災、水漏れ、冷媒漏れ、本体の変形、故障などの原因になります。



禁止

●異常時(焦げ臭いなど)は、すぐに運転を停止して電源ブレーカーを遮断する

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご連絡ください。



注意 使用上の注意事項

●ぬれた手で操作しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

●エアコンを水洗いしない

漏電によって感電や火災の原因になることがあります。



水ぬれ禁止

●エアフィルターを確実に固定する

吸込グリルをツマミ部で確実に固定する
エアフィルター・吸込グリルの落下の原因になることがあります。



●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する

電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。



●高所作業をするときは足場に気をつける

足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。



警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●別売品の取付けは、自分でしない(交換用別売品は除きます)

別売品は当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。(裏表紙参照)



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

据付場所について

- 室外ユニットはまわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？
- 次のような場所では使用しないでください。
 - 切削油など鉱物油の立ち込めるところ
 - 調理場など油の飛沫や蒸気の多いところ
 - 海浜地区など塩分の多いところ
 - 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
 - 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
 - 工場など電圧変動の多いところ
 - 車両・船舶への搭載など
 - 電磁波を発生する機械のあるところ
- 室外ユニットは防雪対策されていますか？
防雪フードなど、詳細はお買い上げの販売店へご相談ください。

ドレン配管の排水について

- ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？
冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でごみ・ホコリなどが詰り、室内ユニットから水が漏れる原因になることがあります。運転を停止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

運転音にもご配慮を

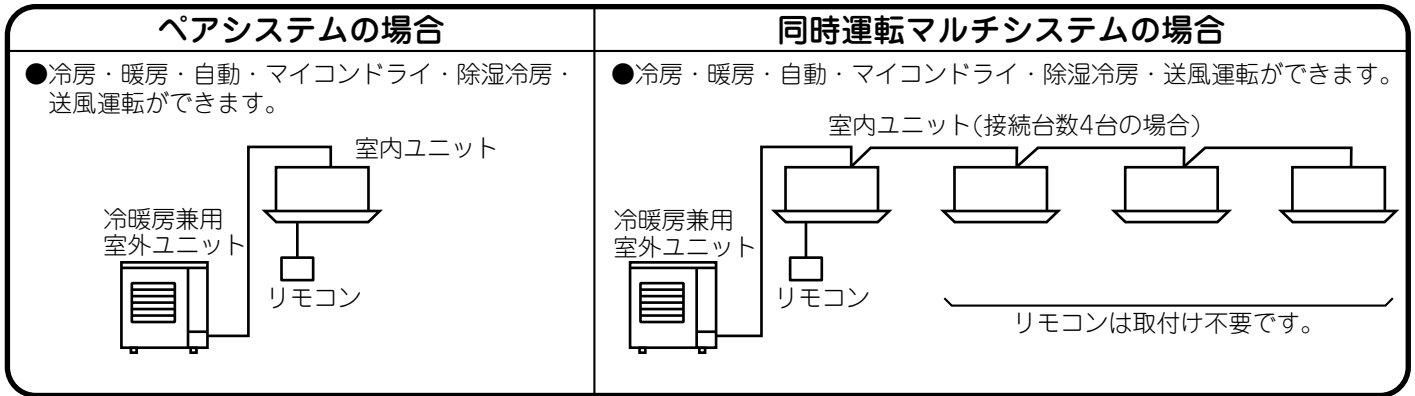
- 次のような場所を選んでいますか？
 - エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
 - 室外ユニットの吹出口からの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ
- 室外ユニットの吹出口近くに障害物はありませんか？
風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になることがあります。
- 使用中に異常音がある場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

電気工事について

- 電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。
お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。
- 室外ユニットはエアコン専用の回路をご使用ですか？
- 電源配線が破損した場合、交換には資格が必要です。
配線の交換は危険を防止するため、お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

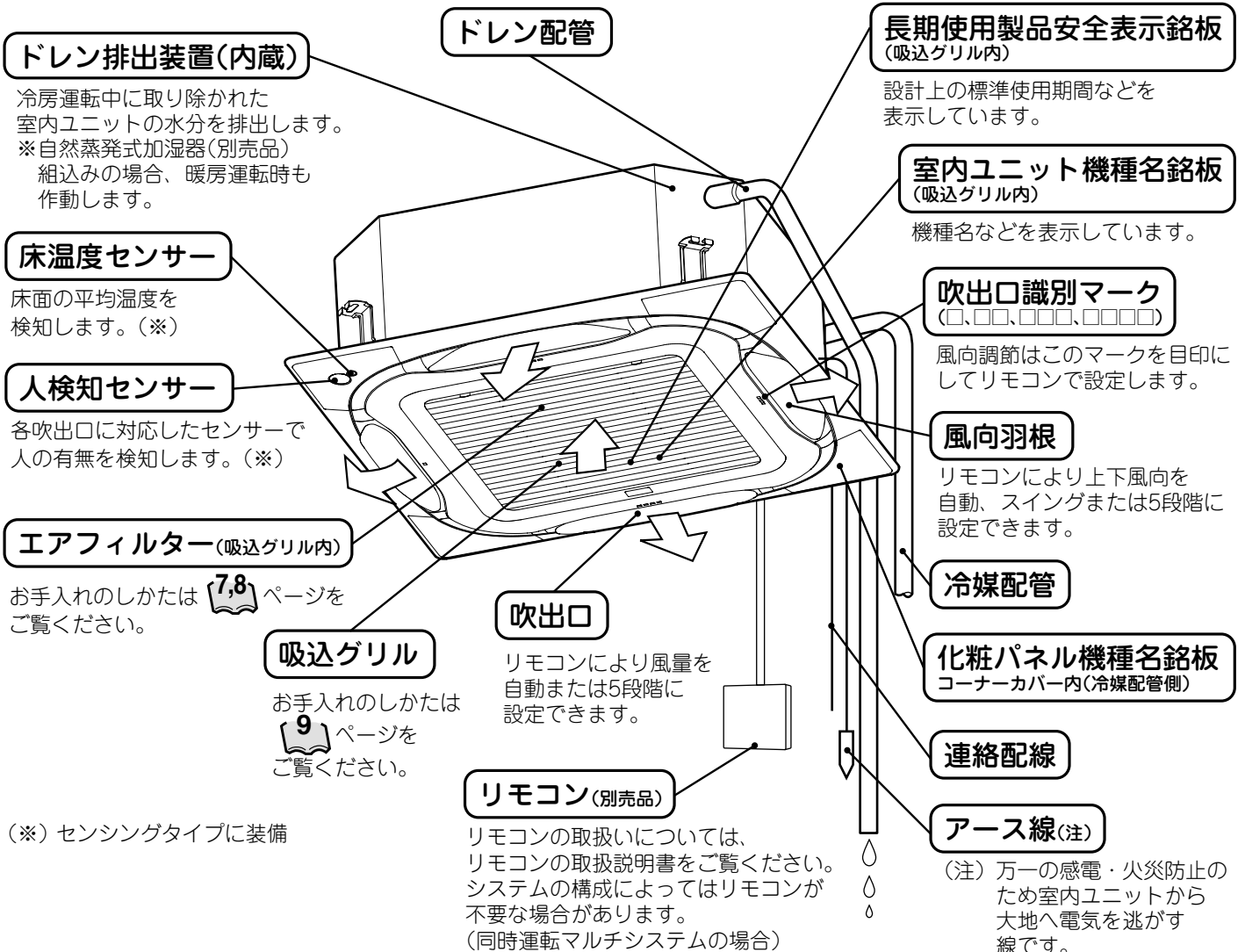
同時運転マルチシステムの説明

本室内ユニットは、次のいずれかのシステムでご使用ください。詳細はお買い上げの販売店にご確認ください。



- お願い**
- 運転操作についてはリモコンの取扱説明書をご覧ください。
また、ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、ワイヤレスリモコンキットの取扱説明書をご覧ください。
 - 同時運転マルチシステムの接続可能な台数については、お買い上げ販売店にご確認ください。

各部の名前と働き



冷房運転の特性(冷房・自動冷房運転)

室内温度が低い場合について

- 室内温度が低い状態で冷房運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着き冷房能力が低下することがあります。その場合、しばらくの間、除霜運転を自動で行います。除霜運転中に溶けた水が飛ぶのを防ぐため、自動でコントロールされた風量(風量「弱」または微風)での運転になります。(リモコンには設定した風量が表示されます。)

外気温が高い場合について

- 外気温が高い場合、設定温度になるまで時間がかかります。

自動冷房運転について

- 運転モードが「自動」で冷房と暖房の運転モードが切り換わる時、設定温度も自動で変更します。

ニオイ抑制設定対象機です

- においが気になる場合、室内温度が設定温度に達したときの風量・風向を制限することができます。設定方法はリモコンの取扱説明書をご覧ください。

暖房運転の特性(暖房・自動暖房運転)

運転開始について

- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転をします。

運転開始時および除霜運転終了後

- お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから温まるまで、時間がかかります。室内ユニット内部の温度がある程度高くなるまでは、室内ファンは自動で微風運転をします。(リモコンには設定した風量が表示されます。)
- そのときリモコンには「除霜／ホットスタート」が表示されます。

除霜運転(室外ユニットの霜取り運転)

- 室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるため除霜運転に自動で切り換わりします。
- 温風が止まり、リモコンに「除霜／ホットスタート」が表示されます。ワイヤレスリモコンの場合は、温風が止まり、受光ユニット表示部の除霜ランプが点灯します。(リモコンには設定した風量が表示されます。)
- 約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
- 除霜運転中や除霜運転終了後、暖房運転に切り換わったとき、吹出口から白い霧が出ます。
( ページ参照)
- 特殊な運転のため、「チュルチュル」・「シュー」音などがするときがあります。( ページ参照)

外気温度と暖房能力について

- 外気温度が下がるにつれて暖房能力は低下します。このような場合はほかの暖房器具と併用してお使いください。(燃焼器具と併用の場合は、こまめな換気が必要です。)
- 室内ユニットの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- 温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーキュレーター(室内循環ファン)のご使用をおすすめします。詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 室内温度が設定温度以上になった場合、室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転になります。風向は水平になります。(リモコンには設定した風量が表示されます。)

自動暖房運転について

- 運転モードが「自動」で暖房と冷房の運転モードが切り換わる時、設定温度も自動で変更します。

マイコンドライ運転・除湿冷房運転の特性

- ドライまたは除湿冷房のどちらかがリモコンに表示されます。除湿冷房は対応機種のみリモコンで表示されます。
- マイコンドライ運転は室内温度を下げずに湿度を下げる運転を行うため、運転ボタンを押したときの室内温度が設定温度になります。そのとき風量・湿度を自動で設定するため、リモコンには風量・設定温度の表示はされません。室内温度と湿度を下げたいときは、冷房運転で室内温度を下げてからマイコンドライ運転をしてください。室内温度が下がった場合、室内ユニットの風が止まる場合があります。
- 除湿冷房運転は、設定した温度と除湿レベルに応じて最適な除湿を行います。風量を自動で設定するため、リモコンには風量の表示はされません。
- 除湿冷房運転時は、除湿を優先するため設定温度よりも室温が下がる場合があります。
- 再熱除湿方式ではありません。
- 室内温度が低い状態でマイコンドライ運転または除湿冷房運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着くことがあります。その場合、しばらくの間、除霜運転を自動で行います。温度が上がるのを防ぐため、自動でコントロールされた風量(風量「弱」または微風)での運転になります。

エコ全自動運転の特性(センサー付パネル取付け時)

人検知センサーと床温度センサーにより人の有無と床温度を検知し、風量・風向を自動でコントロールすることで快適性と省エネ性を両立した運転を行います。
エコ全自動運転をする場合は、リモコンでメニューよりサーキュレーション気流(本ページ下参照)の設定を「無効」にしてから、風量・風向をそれぞれ「自動」に設定してください。
(サーキュレーション気流の設定方法については、リモコンの取扱説明書をご覧ください。)

- 風量はリモコンの設定温度と室内温度の差に応じて自動で5段階にきめ細かくコントロールします。
- 床温度センサーにより人付近温度を精度よく検知し、ムダな運転を防止し快適な運転を行います。
(冷房時の足元の冷やしすぎの防止、暖房時の快適な足元暖房を行います。)

センサー部について

- 人検知センサー：各吹出口に対応したセンサーで人の有無を検知します。
 - 人検知センサーは熱の移動を検知しているため、連続的に高温の物体が移動する場合、「人が在室」と検知する場合があります。(例：動物の移動、赤外線ヒーターの首振り運転など)
 - 背を向けていたり、肌の露出が少ない場合、「人がいない」と検知する場合があります。
- 床温度センサー：床面の平均温度を検知します。
 - 局所的な温度が室内温度と極端に異なる場合、室内温度の判定に影響が出る場合があります。
(例：床暖房設置箇所、高温発熱機器設置箇所など)

風向調節の内容と働き

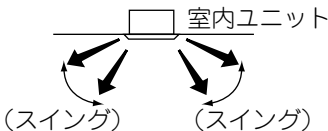
風向調節は各吹出口ごとに個別に設定ができます。

- 吹出口識別マーク(2 ページ参照)を確認してからリモコンで設定を行ってください。
(詳細はリモコンの取扱説明書をご覧ください。)
- 停止中は吹出口の風向羽根を閉じます。

風向調節には次の4とおりがあります。
(停止中は吹出口の風向羽根を閉じます。)

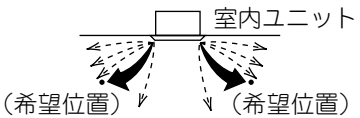
風向スイング

風向を自動で上下させます。



風向固定

5段階に風向を固定することができます。



風向自動

以下のように風向を自動でコントロールします。

- エコパネル(標準タイプ)使用時
室内吸込温度センサーにより風向を自動でコントロールします。
 - 暖房時、吸込温度が低いと下吹きに自動でコントロールします。
- エコパネル(センシングタイプ)使用時
人検知センサーと床温度センサーおよび室内吸込温度センサーにより風向を自動でコントロールします。
 - 人に直接風を当てないようにコントロールします。
 - 暖房時、床面温度が低いと下吹きに自動でコントロールします。

サーキュレーション気流

運転開始時に水平吹きと下吹き(暖房時)、スイング(冷暖時)を交互に繰り返します。温度や時間で機器が自動判定し、通常の風量・風向自動運転に切り換わります。
サーキュレーション気流にするには、リモコンで風量・風向をそれぞれ「自動」に設定してください。
リモコンでメニューよりサーキュレーション気流の設定を「有効」にしてください。
(本機能は初期状態で設定が「有効」になります。)
(サーキュレーション気流の設定方法については、リモコンの取扱説明書をご覧ください。)

風向羽根の動きについて

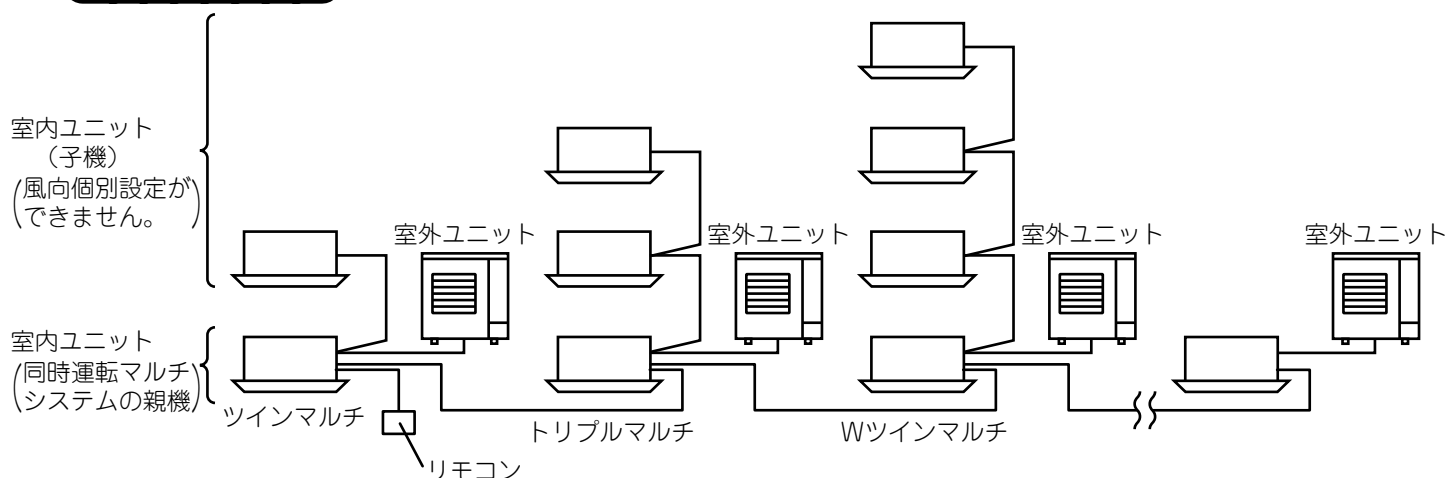
- エコ全自動運転、風向自動運転・サーキュレーション気流の場合は風向は表示されません。
- 下記運転状態のときは風向を自動でコントロールするので、リモコンの表示とは異なる場合があります。

運転状態	上下風向
暖房 自動暖房	●設定温度より室内温度が高いとき (直接風が体に当たらないように、水平吹出しとなります。) ●暖房運転開始時、除霜運転時(室外ユニットに霜が着いたとき) (直接風が体に当たらないように、水平吹出しとなります。)
冷房 自動冷房 マイコンドライ 除湿冷房	●水平吹出しの状態連続運転したとき (風向羽根に結露しないように一定の間、風向を自動でコントロールします。)

運転モード

- 同時運転マルチシステム(ツインマルチ、トリプルマルチ、Wツインマルチ)をグループ制御する場合、子機の風向個別設定ができません。

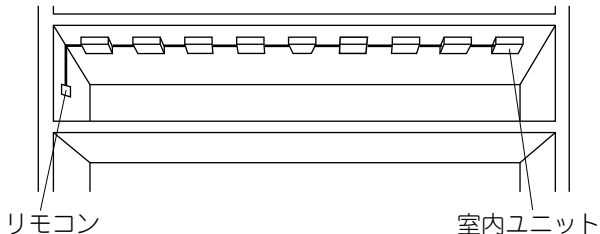
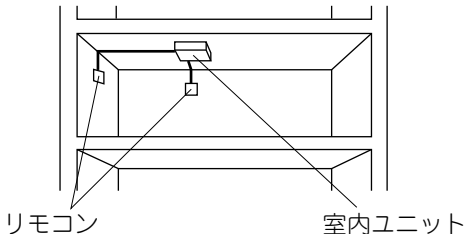
グループ制御の例



内部クリーン運転の特性

- 冷房運転・マイコンドライ運転・除湿冷房運転を一定時間運転したのち停止すると、自動で室内ユニット内部(熱交換器)の洗浄と乾燥を行います。
- 本機能動作中はリモコンの運転ランプは消えますが、基本画面に「内部クリーン中」が表示されます。運転ボタンを押すと運転ランプが緑色に点灯し、内部クリーン運転は解除されます。
- 本機能はリモコンのメニューから「有効」・「無効」の設定が可能です。詳しくはリモコンの取扱説明書をご覧ください。
- 本機能動作中は風が当たる場合があります。
- 本機能動作中は室温が上昇または低下する場合があります。
- 本機能は、付着したホコリを完全に取り除く機能ではありません。
- 数時間(最大10時間)後、自動で内部クリーン運転を停止します。(運転状況によって時間は異なります。)
- 本機能動作後の冷房運転開始時に、室内から大きな音が鳴る場合があります。

複数台の室内ユニットを同時に運転できるシステムになっている場合

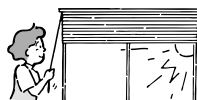
1つのリモコンでグループ制御	2リモコン制御
●1つのリモコンで最大16台まで運転操作できます。 ●各室内ユニットはそれぞれの吸込温度センサーでリモコンの設定温度に個別制御します。 	2つのリモコンから1台(グループ制御の場合は1グループ)の室内ユニットを運転操作できます。 

お願い

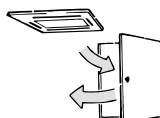
- グループ制御・2リモコン制御についての組合わせや設定については、必ずお買い上げの販売店にご確認ください。
- グループ制御・2リモコン制御についての組合わせや設定を変更される場合はご自分でなさらずに、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

上手な使いかた

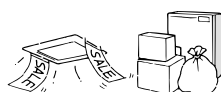
- 冷房中は直射日光を入れるのはやめましょう
窓にはカーテンかブラインドをつけてください。



- ドアや窓を開けたままにするのはやめましょう
運転効率が悪くなります。



- 吹出口・吸込口の近くにものを置くのはやめましょう
能力が低下、または運転が停止することがあります。



- 冷やし過ぎ・暖め過ぎに注意しましょう
電気のムダ使いになります。



- エアフィルターはこまめに清掃しましょう
汚れたまま運転すると能力の低下・水漏れ、または故障の原因になることがあります。

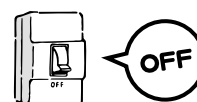
7,8 ページ参照



- テレビ・ラジオ・ステレオなどは室内ユニットやリモコンから1m以上離しましょう
映像が乱れたり、雑音が入る場合があります。

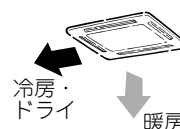


- 長時間使用しないときは電源ブレーカーを遮断しましょう
電源ブレーカーが入っていると、数ワット～数十ワットの電力(※1)を消費するためです。ただし、機械保護のため、運転するときは必ず6時間以上前に電源を入れてください。(※2)



- (※1) 停止中の消費電力は、室外ユニットの機種により異なります。
(※2) 設定は、電源ブレーカーを遮断する前の状態を記憶しています。
(タイマー設定は消去されます。)

- 風向調節・風向自動運転を上手に使いましょう
冷たい空気は下に、暖かい空気は上にたまります。風向は、冷房・ドライ・除湿冷房時は水平に、暖房時は下向きをおすすめします。風向自動運転は室内温度に応じて風向を自動で調節します。



- タイマー運転を有効に使いましょう
室内温度が設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用し、事前に運転を開始してください。



運転について

お手入れのしかた

警告

- 可燃性スプレー(ヘアスプレー・殺虫剤・除菌剤・エアダスターなど)や消臭剤などを本体の近くで使用したり、直接吹きかけない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
火災、水漏れ、冷媒漏れ、本体の変形、故障などの原因になります。



注意

- エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。



- お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する
電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。



- エアフィルターを確実に固定する
吸込グリルをツマミ部で確実に固定する
エアフィルター・吸込グリルの落下の原因になることがあります。



- 高所作業をするときは足場に気をつける
足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。



お願い

- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。故障の原因になることがあります。
- 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの(キッチンペーパーなど)を取り付けしないでください。性能が低下し、凍結・水漏れの原因になることがあります。

日常のお手入れ

※本内容はエコパネル・標準パネル・オイルガードフィルター専用パネルの場合の説明になります。
上記以外のパネルの場合は、該当パネルの取扱説明書をご覧ください。

エアフィルターの清掃のしかた①

リモコンに「フィルターのお手入れ時期です」または、「フィルターお手入れ」が表示されたら、清掃してください。(※1)

- 一定時間運転すると表示されます。

お願い

- 表示されるまでの時間を変更することができます。
汚れの多いところで使用される場合はお買い上げの販売店へご依頼ください。

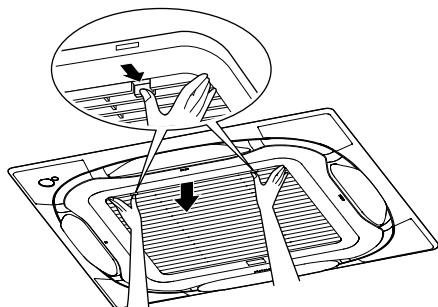
汚れ	表示されるまでの時間
標準	2500時間(1年相当)
多い場合	1250時間(半年相当)

- 汚れが取れなくなりましたら
エアフィルターを交換してください。
(交換用ロングライフフィルターは別売品です。)

15 ページ参照

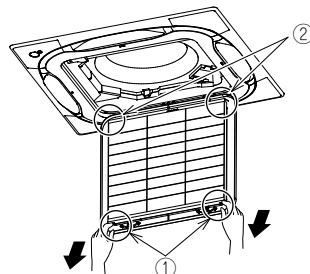
1. 吸込グリルを開けます。

ツマミ部2カ所を押しながら
ゆっくりおろしてください。

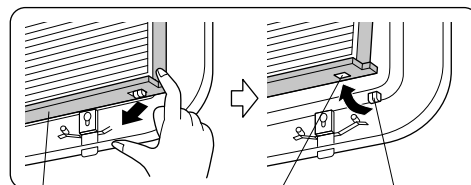


2. エアフィルターを取り出します。

次の順番で作業をしてください。

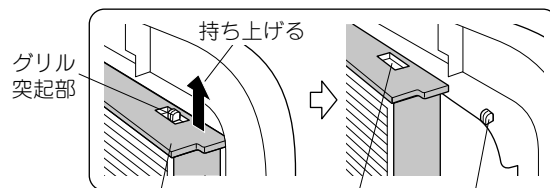


- ①エアフィルターの端部を斜め下に引いて
グリル突起部からエアフィルターの引掛穴部
を外してください。(左右共)



エアフィルター 引掛穴部 グリル突起部

- ②エアフィルターを持ち上げてグリル上部の
突起部からエアフィルターの引掛穴部を
外してください。(左右共)



エアフィルター 引掛穴部 グリル突起部

(次ページに続きます。)

エアフィルターの清掃のしかた②

3. 清掃します。

汚れは電気掃除機または水洗いで清掃してください。

汚れがひどい場合、
柔らかいブラシや
中性洗剤を使って
洗ってください。



水切り後、日陰で
乾かしてください。

お願い

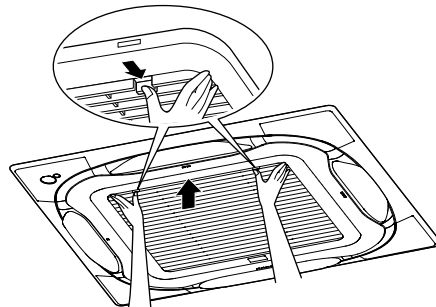
- 50℃以上のお湯で洗わないでください。
変色や変形の原因になることがあります。
- 乾燥させる場合は火であぶらないでください。
燃える原因になることがあります。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・
市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。
変色や変形の原因になることがあります。

4. エアフィルターを取り付けます。

2と逆の手順で取り付けてください。

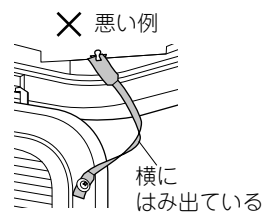
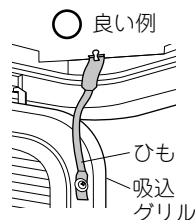
5. 吸込グリルを閉めます。

吸込グリルをゆっくり押し上げ、
最後に2カ所のツマミ部を押しながら、
化粧パネルに確実に固定してください。



お願い

- 吸込グリルを閉めるとき、
ひもをはさみ込むおそれがあります。
閉める前にひもが吸込グリルの横から
はみ出していないことを確認してください。



6. リモコンの 「フィルターのお手入れ時期です」または、 「フィルターお手入れ」の表示を消します。

- リモコンのメインメニューより
フィルターサインリセットを行ってください。
(運転中と停止中のどちらの状態でも表示を
消すことができます。)
詳細はリモコンの取扱説明書をご覧ください。(※1)

(※1) ワイヤレスリモコンの場合は、
ワイヤレスリモコンに付属の取扱説明書
をご覧ください。

吹出口・外装・リモコンの清掃のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れが取れないときは、布を水でうすめた中性洗剤に
ひたしてよく絞り汚れをふき取ったあと、
乾いた布でからぶきしてください。

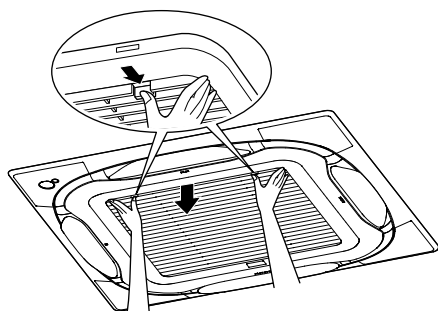
お願い

- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・
市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。
変色や変形の原因になることがあります。
- 50℃以上のお湯を使用しないでください。
変色や変形の原因になることがあります。
- パネルセンサー部の表面に傷をつけないでください。
センサーが正しく検知しなくなることがあります。
(センシングタイプをご使用の場合)

吸込グリルの清掃のしかた

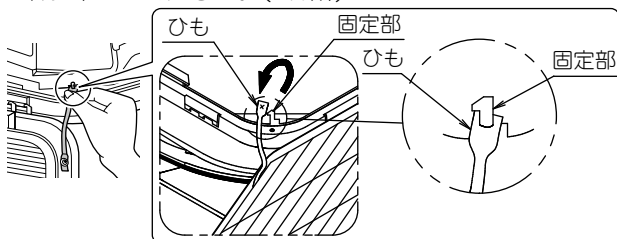
1. 吸込グリルを開けます。

ツマミ部2カ所を押しながらゆっくりおろしてください。



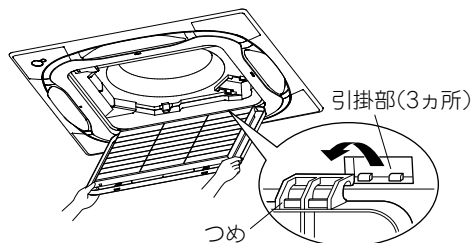
2. 吸込グリルのひもを外します。

化粧パネルの固定部に引っ掛けているひもを取り外してください。(2カ所)



3. 吸込グリルを取り外します。

吸込グリルを約45°開いた状態にし、持ち上げ、引掛部から外してください。(3カ所)



4. エアフィルターを取り出します。

エアフィルターの清掃のしかた①の

2(7ページ)を参照してください。

5. 清掃します。

水か中性洗剤で
柔らかいブラシを使って洗い、
水切りしたあと乾いた布で
水をふきとってください。



汚れがひどい場合

- 換気扇・レンジなどの洗剤を直接吹き付け、10分くらいそのままにします。その後、水でよく洗い流してください。

お願い

- 50℃以上のお湯で洗わないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 乾燥させる場合は火であぶらないでください。燃える原因になることがあります。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。

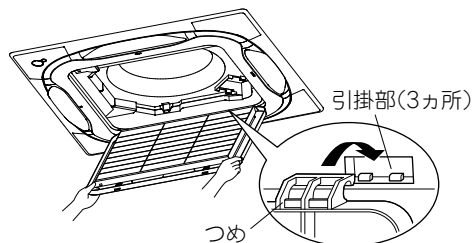
6. エアフィルターを取り付けます。

エアフィルターの清掃のしかた②の

4(8ページ)を参照してください。

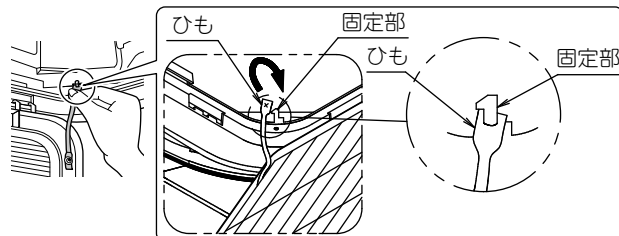
7. 吸込グリルを取り付けます。

吸込グリルを約45°開いた状態にし、引掛部に引っ掛けてください。(3カ所)



8. 吸込グリルのひもを取り付けます。

吸込グリルのひもをパネル固定部に引っ掛けて取り付けてください。(2カ所)

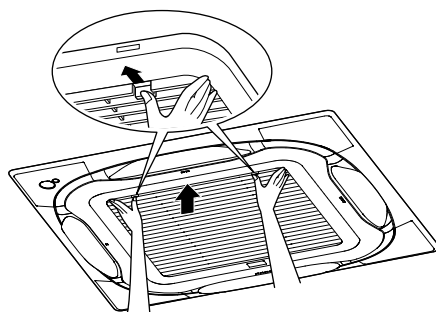


お願い

- 吸込グリルを閉めるとき、ひもをはさみ込むおそれがあります。閉める前にひもが吸込グリルの横からはみ出していないことを確認してください。

9. 吸込グリルを閉めます。

吸込グリルをゆっくり押し上げ、最後に2カ所のツマミ部を押しながら、化粧パネルに確実に固定してください。



シーズン初め・終わりのお手入れ

シーズン初め

確認してください。

- 室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？
障害物がある場合は取り除いてください。
障害物は風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になることがあります。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。(清掃のしかたは  ページ参照)
- 別売品のエアフィルターの取付方法・取外方法や清掃のしかたは別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。
- エアフィルターを確実に固定してください。
吸込グリルのツマミ部で確実に固定してください。
- 清掃後は、電源を入れてリモコンのメインメニューよりフィルターサインリセットを実行してください。

6時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。

- 機械保護のためと、始動を円滑にするためです。
- 電源ブレーカーを入れると、リモコン表示部に文字が表示されます。

電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について

- 機種シリーズによっては、機器保護のため下記運転動作を行う場合があります。
電源ブレーカー投入後、6時間以内に暖房運転をした場合、機器保護のために室内ファンは約10分間停止後に運転します。
上記運転は据付け時のみでなく、電源ブレーカーをOFF/ONすることに行います。
暖房運転をスムーズに開始するために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを遮断しないことをおすすめします。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

- カビなどの発生を防止するためです。

電源ブレーカーを遮断してください。

- 電源ブレーカーが入っているときは、数ワット～数十ワットの電力を消費します。
節電のためにも電源を遮断してください。
- 電源ブレーカーが遮断されると、リモコン表示部の文字が消えます。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。(清掃のしかたは  ページ参照)
- 別売品のエアフィルターの取付方法・取外方法や清掃のしかたは別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。
- エアフィルターを確実に固定してください。
吸込グリルのツマミ部で確実に固定してください。

お願い

- 室内ユニットを数シーズンご使用になると内部の熱交換器やドレンパンが汚れ、性能低下や水漏れなどの原因になることがあります。
内部清掃には専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

お手入れについて

調子がおかしいときは

次の場合は、故障ではありません。

●電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について

機種シリーズによっては、機器保護のため下記運転動作を行う場合があります。

電源ブレーカー投入後、6時間以内に暖房運転をした場合、機器保護のために室内ファンは約10分間停止後に運転します。

上記運転は据付け時のみでなく、電源ブレーカーをOFF/ONすることに行います。

暖房運転をスムーズに開始するために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを遮断しないことをおすすめします。

	症状	原因	確認内容
運転しない	停止後、すぐに運転したとき	機械に無理がかからないようにコントロールしているためです。	リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。 3分後に運転を自動で開始します。
	温度調節を行って、すぐ元の設定に戻したとき		リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。
	操作ボタンを押すとリモコンに「集中管理中このリモコンからは操作できません」または「集中管理されています。このリモコンからは操作できません。」と表示されたとき	集中機器により、コントロールされているためです。	そのリモコンで操作できないことを示します。
	電源ブレーカーを入れ6時間以内に暖房運転をしたとき	機器保護のためです。 (本ページ上参照)	約10分間停止後に室内ファンは運転します。 (6時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。)
	室外ユニットが停止	室内温度が設定温度に達しているためです。 室内ユニットは送風運転を続けます。	〈冷房運転時〉 設定温度を下げてください。 〈暖房運転時〉 設定温度を上げてください。 しばらくして運転開始すれば正常です。
	リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示され、風が止まる	室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるので、除霜運転を自動でしているためです。	約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
	リモコンに「U4」・「U5」が表示され、停止するが数分で運転を再開する	室内ユニット以外の機器からの電気雑音(ノイズ)によりユニット間の通信が遮断されて停止しているためです。	電気雑音(ノイズ)がなくなると運転を自動で再開します。
ときどき止まる	冷房・除湿冷房またはマイコンドライ運転を停止しても運転し続ける	内部クリーン運転をしているためです。 内部クリーン運転は途中で停止することもできます。(お好みに合わないときは、リモコンで内部クリーン運転の設定を「無効」にしてください。) 詳しくはリモコンの取扱説明書をご覧ください。	リモコンの基本画面に「内部クリーン中」と表示されていれば正常です。 内部クリーン運転の機能の有無については、カタログをご覧ください。 内部クリーン運転については、リモコンの取扱説明書をご覧ください。
風量が設定どおりにならない	風量調節を行っても風量が変わらない	〈冷房運転時〉溶けた水が飛ぶのを防ぐため、風量「弱」または微風運転になることがあります。	しばらくすると、風量を変えることができます。 (マイコンドライ運転または除湿冷房運転は風量設定できません。)
		〈暖房運転時〉室内温度が設定温度に達したときは室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転になります。 風量が変わるまでに時間がかかります。 また、除霜運転中の場合、直接風が当たらないよう室内ユニットのファンは停止します。	設定温度を上げてください。 しばらくすると風量が変わります。 ( ページ参照)

次の場合は、故障ではありません。

症状		原因	確認内容
風向が設定どおりにならない またはリモコンの表示と異なる	リモコンにスイングが表示されているが風向羽根がスイングしない	〈暖房運転時〉運転開始直後や設定温度より室内温度が高いときに直接風が当たらないように風向を水平にコントロールしているためです。	しばらくするとスイングします。 ( ページ参照)
	リモコンの風向表示と風向羽根の動きが異なる	〈冷房・マイコンドライまたは除湿冷房運転時〉水平吹出しに設定された場合は風向羽根が結露しないように一定の時間表示と異なる風向にするためです。	しばらくすると設定の風向になります。 ( ページ参照)
		〈暖房運転時〉運転開始直後や設定温度より室内温度が高いときに直接風が当たらないように風向を水平にコントロールしているためです。	
風向羽根が閉じない	運転停止しても風向羽根が閉じない	室内ユニットのファンが止まってから風向羽根が閉じるためです。	しばらくすると風向羽根が閉じます。
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき(油分やホコリの多い場所)	室内ユニット内部の汚れがひどい場合に、温度ムラが生じるためです。(※1)	使用環境を確認してください。
	除霜運転中および除霜運転終了後の暖房運転に切り換わったとき	霜が溶け、湯気となって出てくるためです。	リモコンに「除霜/ホットスタート」の表示が出ていれば除霜運転中です。
音が出る	運転開始直後の「ジーン」という音	風向羽根を動かす電動機が始動している音です。	1分くらいで音が小さくなります。
	冷房時や除霜時の「シュー」というかすかな連続音や除霜時の「チュルチュル」という音	エアコン内部にガス(冷媒)が流れている音です。	—
	運転開始・停止直後、除霜開始・停止直後の「シュー」という音	ガス(冷媒)の流れが止まる音または流れが変わる音です。 暖房運転時は自動で除霜運転に切り換わりリモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。	約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
	運転中や停止後の「シャー」「ジュルジュル」というかすかな連続音	ドレン排出装置が作動している音です。(※2)	—
	運転中と運転停止後の「ピシピシ」というキシミ音	樹脂部品が温度変化により伸縮するためです。	—
ホコリが出る	長時間運転停止したあと、ふたたび運転を始めるとき	室内ユニット内部に付着したホコリが吹き出るためです。	ホコリがひどい場合は内部の洗浄が必要です。(※1)
においが出る	運転中	部屋のにおい・たばこのにおいなどが室内ユニット内部で吸着されて吹き出すためです。	においが気になる場合、「ニオイ抑制設定」ができます。設定方法はリモコンの取扱説明書をご覧ください。
よく冷えない	マイコンドライ運転または除湿冷房運転中	室内温度をできるだけ下げずに湿度を下げる運転をするためです。	冷房運転で室内温度を下げてからマイコンドライ運転または除湿冷房運転をしてください。 ( ページ参照)

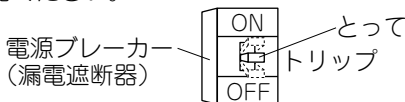
●冷房運転の特性・暖房運転の特性・マイコンドライ運転・除湿冷房運転の特性( ページ)をご覧ください。

(※1) 室内ユニットの内部の洗浄が必要です。室内ユニット内部の洗浄は、お客様自身では行わず、必ずお買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。

(※2) ●冷房運転中に取り除かれた室内の水分を排出します。

●加湿器(別売品)が組み込まれている場合は暖房運転時も排出します。

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
まったく 運転しない	電源ブレーカーが遮断されていませんか？	●電源ブレーカーのところがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのところがトリップ位置の場合は、電源を入れないで買い上げの販売店にご連絡ください。 
	停電ではありませんか？	停電復帰後、再運転してください。
運転するが すぐに止まる	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？ ※停止中は吹出口の風向羽根は閉じます。	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰りしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 エアフィルターの目詰りは風の流れを悪くし、冷房や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。 また、吹出口などに結露する原因になることがあります。 (7,8 ページ参照)
	運転時、風向羽根が開いていますか？	買い上げの販売店にご連絡ください。
よく冷えない、 よく暖まらない	運転時、風向羽根が開いていますか？	買い上げの販売店にご連絡ください。
	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？ ※停止中は吹出口の風向羽根は閉じます。	障害物を取り除いてください。 障害物がある場合、風量低下や吹き出した風を吸い込み、能力低下や機器の故障の原因になることがあります。 電気のムダ使いにもなり、運転音増大や機器が停止する原因になることがあります。
	エアフィルターが目詰りしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 エアフィルターの目詰りは風の流れを悪くし、冷房や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。 また、吹出口などに結露する原因になることがあります。 (7,8 ページ参照)
	デマンドモード・節電設定になっていませんか？	デマンドモード・節電設定を解除してください。
	設定温度は適正ですか？	室温が設定温度になるとサーモオフ送風運転を行います。この際、風量を弱める場合があります。 効きが悪いと感じる場合は設定温度の変更をおすすめします。
	設定風量が「弱」になっていませんか？	適正な風量・吹出風向に設定してください。
	風の吹出方向は適正ですか？	
	窓や扉が開いていませんか？	窓や扉をしっかりと閉めてください。
	換気扇を運転されていませんか？	—
	〔冷房時〕直射日光が入っていませんか？	窓にカーテン・ブラインドをつけてください。
	〔冷房時〕在室人員が多すぎませんか？	—
	〔冷房時〕室内に熱源(OA機器など)が多すぎませんか？	
	〔暖房時〕リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されていませんか？	除霜中はファンが停止します。 約6～8分(最長10分)で元の運転に戻ります。

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
運転/停止ボタンを押さないのに運転・停止した	入切タイマー運転または不在時停止機能を有効にしていますか？ (不在時停止機能についてはリモコンの取扱説明書をご覧ください)	有効/無効設定で「無効」にしてください。 (リモコンの取扱説明書をご覧ください。)
	遠方制御機器を接続していませんか？	停止を指示した集中管理室などへ連絡・確認をしてください。
	集中管理中の表示が点灯していませんか？	
	停電自動復帰を設定していませんか？	運転/停止ボタンを押して停止してください。
	高温みまもりモードを設定していませんか？	有効/無効設定で「無効」にしてください。 (リモコンの取扱説明書をご覧ください。)

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。
このとき、症状と機種名(保証書またはリモコンでの確認(詳細はリモコンの取扱説明書をご覧ください)または吸込グリル内の室内ユニット機種名銘板・冷媒配管側コーナーカバー内の化粧パネル機種名銘板( ページ参照)に記載)をお知らせください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

警告

- 異常時(焦げ臭いなど)は、すぐに運転を停止して電源ブレーカーを遮断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。



症状	次の処置をしてから連絡を
電源ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置が作動する。	電源を遮断してください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源を遮断してください。
エアコンから水が漏れる。	運転を停止してください。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご入用のときには弊社純正品とご指定ください。ただし同時組込みできないものがあります。
詳細はお買い上げの販売店にお問合わせください。



警告

- 別売品の取付けは、自分でしない(交換用別売品は除きます)

別売品は当社指定以外のものは使用しない

取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。(裏表紙参照)



禁止

交換用別売品

- 交換用ロングライフフィルター …… 汚れが取れなくなったとき、交換してください。

別売品

- 自然蒸発式加湿器 …… 室内を適当な湿度に保ち、快適な暖房運転ができます。
- 空気清浄ユニット …… 高効率電気集塵エレメントにより、室内からタバコの煙やホコリを取り除きます。
- ストリーマ除菌ユニット …… ストリーマ放電によりウィルス・菌を強力に除去します。
- ストリーマ脱臭ユニット …… ストリーマ放電により悪臭成分を分解し、いやな臭いを取り除きます。
- 超ロングライフフィルター …… メンテナンス期間を標準のフィルターより延長します。
- 高性能フィルター …… 捕集しにくい微細なチリやホコリを捕集し、空気を高度な清浄度に保ちます。

製品の種類と運転音

機 種		FHCP40EM FHCP40FA FHCP40FC	FHCP45EM FHCP45FA FHCP45FC	FHCP50EM FHCP50FA FHCP50FC	FHCP56EM FHCP56FA FHCP56FC	FHCP63EM FHCP63FA FHCP63FC FHCP63EN FHCP63FB FHCP63FD	FHCP71EM FHCP71FA FHCP71FC
項 目	機 能	冷暖房兼用形					
	ユ ニ ッ ト 構 成	分離形					
	凝 縮 器 の 冷 却 方 式	空冷式					
	送 風 方 式	直接吹出形					
	定格冷房標準能力(kW)	3.6	4.0	4.5	5.0	5.6	6.3
	定格暖房標準能力(kW)	4.0	4.5	5.0	5.6	6.3	7.1
	運転音 (dB)	48/47/45	48/47/45	48/47/45	49/48/46	50/49/46	51/49/46

機 種		FHCP80EN FHCP80FB FHCP80FD	FHCP80EM FHCP80FA FHCP80FC	FHCP112EM FHCP112FA FHCP112FC	FHCP140EM FHCP140FA FHCP140FC	FHCP160EM FHCP160FA FHCP160FC
項 目	機 能	冷暖房兼用形				
	ユ ニ ッ ト 構 成	分離形				
	凝 縮 器 の 冷 却 方 式	空冷式				
	送 風 方 式	直接吹出形				
	定格冷房標準能力(kW)	7.1	7.1	10.0	12.5	14.0
	定格暖房標準能力(kW)	8.0	8.0	11.2	14.0	16.0
	運転音 (dB)	52/50/46	58/51/46	61/56/50	62/58/52	62/58/54

- (注) ●音響パワーレベルはJIS B 8616：2015に準拠した値です。
●この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。
●能力はJIS B 8616：2015に定める試験条件のものとの値です。

- 本機は業務用エアコンです。
「点検周期」および「保全周期」の一覧にしたがい適切な保全行為を行ってください。( ページ表1参照)
- 家庭用として設計上の標準使用期間を超えて使用する場合は、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。
設計上の標準使用期間は長期使用製品安全表示銘板に表示しています。
(銘板位置は  ページ参照)
設計上の標準使用期間についての詳細は下記をご覧ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を行っています。

	※【設計上の標準使用期間】 10 年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。
---	---

※設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件下での経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。製造年は室内ユニットの機種名銘板の中に西暦4桁で表示してあります。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件 JIS C 9921-3による

	項 目	規 定
環境条件	電源電圧	単相200V または三相200V
	周波数	50/60Hz
	冷房室内温度	27 ℃(乾球温度)
	冷房室内湿度	47%(湿球温度19 ℃)
	冷房室外温度	35 ℃(乾球温度)
	冷房室外湿度	40%(湿球温度24 ℃)
	暖房室内温度	20 ℃(乾球温度)
	暖房室内湿度	59%(湿球温度15 ℃)
	暖房室外温度	7 ℃(乾球温度)
	暖房室外湿度	87%(湿球温度6 ℃)
	設置条件	製品の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋(畳数)
想定時間	1年当たりの使用日数	東京モデル 冷房：6月2日から9月21日までの112日間 暖房：10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間	冷房：9時間/日 暖房：7時間/日
	1年間の使用時間	冷房：1,008時間/年 暖房：1,183時間/年

- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

警告

●分解や改造・修理をしない

故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、
故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●冷媒が漏れたら火気厳禁

室内ユニットに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。
冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所が修理が確実に完了したことを
サービスマンに確認のうえ、運転してください。



禁止

フロンについて

本機に使用される冷媒種、およびGWP(地球温暖化係数)は
下表になります。

種類	冷媒番号	GWP
HFC	R32	675
HFC	R410A	2090

本機が接続されているシステムの冷媒種は、室外ユニットに表示されています。
地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄する場合にはフロン類の回収が必要です。



この表示はエアコンに温暖化ガス
(フロン類)が封入されていることを、
ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは 次のことをお知らせください。

- 機種名
 - 製造番号と据付年月日
 - 故障状況 — できるだけ詳しく(リモコンの表示内容もお知らせください。)
 - ご住所・お名前・お電話番号
- 保証書に記載してあります。

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、この室内ユニットの補修用性能部品を製造打ち切り後10年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ

室内ユニットを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能低下や水漏れの原因になることがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について

[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表1は次の使用条件が前提となります。

- ①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ②製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年としています。

●表1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検 周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1 年	20,000時間
電動機 (ファン・ルーバー・ドレンポンプ用など)		20,000時間
空気清浄ユニット		8 年
プリント基板類		25,000時間
熱交換器		5 年
電子膨張弁		20,000時間

主要部品名	点検 周期	保全周期 [交換または修理]
バルブ(電磁弁・四方弁など)	1 年	20,000時間
センサー (サーミスタ・圧力センサーなど)		5 年
ドレンパン(※)		8 年
リモコンおよびスイッチ類		25,000時間
ファン		室外: 10年、室内: 13年

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
- 注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。
- また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
- 注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、発停頻度が高いなど)や使用環境(高温・多湿など)がきびしくなると短縮する必要があります。
- ※建築物衛生法(旧ビル管理法)の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。
ドレンパンに付属の抗菌剤(銀イオン)に含まれる成分が析出し排水経路に付着することがあります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検 周期	交換周期	主要部品名	点検 周期	交換周期
ロングライフフィルター	1 年	5 年	クランクケースヒーター	1 年	8 年
高性能フィルター		1 年	自然蒸発式加湿器(※)		3 年
ヒューズ		10年	ドレンパン抗菌剤(銀イオン)		8 年

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
- 注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。
- 注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、発停頻度が高いなど)や使用環境(高温・多湿など)がきびしくなると消耗期間が短くなる場合があります。
- ※建築物衛生法(旧ビル管理法)の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。

■移設および廃棄などについて

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

- この製品を廃棄またはリサイクル(部品や材料の再利用)する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・再生または破壊・書面管理が義務付けられています。
 - この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・再生または破壊が義務付けられています。
- いずれの場合も、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
- 製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

- この製品には保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で所定事項を記入してお渡します。記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。
- 保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。
ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をご覧ください。

「ご購入製品の登録」のご案内

製品を安心・便利にご使用いただくために
当社会員制サイト「CLUB DAIKIN」へのご登録をお願いします。
詳しくはこちら ➡ <https://club.ac.daikin.co.jp/>
※登録には製品の機種名銘板に記載の機種名、製造番号が必要です。



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

知っておくべきこと

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問い合わせは下記の **ご購入店** へご連絡ください。

ご購入店名

TEL

据付年月日

年

月

日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

WEBから

よくあるご質問、取扱説明書を
ご覧いただけます。

簡単・便利に修理依頼、リモコン・
フィルターなどのご購入ができます。

ダイキンコンタクトセンター

検索

https://www.daikincc.com

WEB受付
の流れ

修理依頼
内容を入力

ご訪問日の
確認・登録

受付完了
メールが届く

ご訪問

QRコードからもアクセスできます。

24時間365日。安心つながる。

お客様
総合窓口

コンタクトセンター

お電話から

フリーダイヤル

0120-88-1081

FAXから

フリーダイヤル

0120-07-0881

非通知設定の方は、最初に186をダイヤルいただき発信番号の通知をお願いしております。



1907 QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

工事責任者様へ

据付工事後に下記項目の確認を行い、チェック欄に印を記入してください。
記入後、引き渡し時にお客様に渡して頂くようお願いします

据付工事完了報告

区分	確認内容	チェック欄
据付け	室外ユニットは吹出口正面から強風が吹きつけないよう設置し、基礎にボルトで確実に固定しました	
据付け	室内・室外ユニットを、吹出口・吸込口の前に障害物がなく、通風が十分に確保できる場所に設置しました	
配線	電気配線は途中で継ぎ足さないように工事し、誤配線やゆるみ、固定忘れがないことを確認しました	
配線	アース工事を実施しました	
配線	接続するユニットに応じた、適切な遮断容量の漏電遮断器(高調波対応品)を施設しました	
配管	閉鎖弁は液側・ガス側共に全開にしました	
配管	配管ろう付けを行った場合、リン銅ろうを使用し、窒素置換を行ってから実施しました	
配管	気密試験を実施し、配管工事箇所から漏れがないことを確認しました	
配管・配線	ユニット内への小動物の侵入や水の浸入を防止するため、冷媒配管や電気配線の貫通部を養生しました	
配管・配線	複数のユニットを併設設置した場合、個別に動作させて誤配線や誤配管がないことを確認しました	
断熱	冷媒配管やドレン配管が露出しないよう、確実に断熱しました	
冷媒充てん	真空引きを実施したあと、冷媒配管長さおよびサイズに応じた冷媒量を封入しました 充てん量・接続配管長さおよびサイズなどを、室外ユニットの注意銘板に記入しました	
ドレン	ドレンは配管の接続箇所で漏れがなく、スムーズに排水されていることを確認しました	
その他	保守点検・修理作業が行えるよう、サービススペースの確保を実施しました	
その他	その他、据付説明書を確認したうえで、確実に工事・設定・確認を実施しました	

工事責任者

ダイキン工業株式会社

本 社 大阪府大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス
郵便番号 530-0001



二次元バーコードは
製造用コードです。
お客様用のバーコード
ではありません。

3P420398-4K M19A045E (2309)